

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和5年度			
事業番号	19	事業名	環境基本計画推進事業 (大事業名) 環境基本計画推進事業		担当課		環境課			
					予算区分（款-項-目-中事業）		4-1-3-1 環境基本計画推進事業			
					決算書ページ		153	～ 154	一般	
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物		事業開始の背景	地球温暖化対策や自然環境の保護は、地球全体の問題として、対応が必要である。			
		政策	3	地球にやさしい持続可能な社会の構築						
		施策	(1)	くらしの低炭素化の推進			市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可	
	その他	開始年度	不明							
		終了予定年度	☐ 年度	☒ 未定						
		根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、気候変動適応法等							
	関連計画	長久手市環境基本条例、第4次長久手環境基本計画								
	事業の概要・目的	アウトプット（詳細はⅡへ）					アウトカム（詳細はⅢへ）			
		①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)		
		【対象】 ☒ 市民 ☒ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000人+事業所		【アクションプラン指標】 環境配慮行動促進事業への参加者数【累計】 【その他の指標】 スマートハウス化に対する支援件数【累計】 ニノ池湿地群保全管理計画推進協議会の開催【単年】 自然環境調査への市民参加者数【単年】		人と地域がつながり、自然と環境にこだわるまちを目指して行動する人々が増える。 (成果指標名)		大事業共通 くらしの安心や健康、幸せや豊かさを実感できる。 環境を通じて、地域、自然、世界とつながる物語が生まれる。		
第4次長久手環境基本計画で「脱炭素のくらしと地域づくり」「循環型のくらしと地域づくり」「自然共生のくらしと地域づくり」「安全・安心のくらしと地域づくり」を実現するための施策を行う。令和6年までの5年間に重点的に取り組む施策を「重点プロジェクト」に設定し、実行する。										

活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ		区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	
活動指標	1	【アクションプラン事業】 環境配慮行動促進事業への参加者数【累計】	人	基準値	2,666	見込	2,666	2,866	3,066	3,266	3,466
				目標値	3,666	実績	2,744				
	2										
	3			基準値		見込					
				目標値		実績					
	4			基準値		見込					
				目標値		実績					
	事業開始からの経緯										
	第4次長久手市環境基本計画（令和3年度～）を策定した。お披露目会として長久手市の気象についての講演会を実施し、環境問題が生活に密着していることを市民に発信した。										
	R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
	・環境配慮行動促進事業として、ecoチャレンジ事業を実施し、延べ259人のエントリーがあった。2023長久手市福祉まつり（10月15日）において、約100組の来場者に、電気の大切さを学んでもらうソーラートレインや環境クイズを体験していただき、環境意識の啓発を実施した。										

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標								
		【アクションプラン指標】 環境配慮行動促進事業への参加者数【累計】	人	R4 年度		年度		【現状】 R5 年度		年度		R9 年度
				2,385				2,744				3,466
		成果達成状況					指標目標値の根拠					
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					第4次環境基本計画において、2030年までの取組のキーワードを、「人づくり・地域づくり」としている。 市民が自発的に環境配慮行動を行うためのきっかけ作りとして令和4年度から「ながくてエコチャレンジ事業」を開始したため、その事業へのエントリー数を成果指標と設定する。				
	評価の理由、分析											
	ecoチャレンジ事業に259人がエントリーし、二酸化炭素削減に向けた行動を実践していただいた。											
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由								
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止	令和6年度と令和7年度に地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定を行い、その中で、こういった事業を実施すべきかを検討していく。								
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）										
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度		
1		環境基本計画推進事業	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	令和6年度と令和7年度に地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定を行い、その中で、こういった事業を実施すべきかを検討していく。							R8	
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										

IV 費用	令和7年度予算の方向性（PLAN）	R7年度の費用（R6年度比）		3年間の推移	（単位：千円）		R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度	
		A	A. 現状維持 B. 拡充		事業費	予算	予算	決算	予算	決算	
			C. 縮小 D. 廃止			3,576	14,127	13,958	19,522	10,891	
		理由			特定財源	合計額					
		地球温暖化対策実行計画の改定の2年目を迎えるため、同程度の予算規模が必要であるため。	（内 国費）				13,565	11,970			
			（内 県費）								
			（内 諸収入）								
			（内 その他）								
		積算額			一般財源	3,576	562	1,988	19,522	10,891	
		地球温暖化対策実行計画 3,080,000円 （債務負担行為対応済み）			R6年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R5年度予算額）＞ 環境審議会委員報酬 234,000円（234,000円） 環境学習会講師謝礼 120,000円（120,000円） 環境啓発事業景品 100,000円（100,000円） 普通旅費 9,000円（9,000円） 特別旅費 10,000円（10,000円） 消耗品費 81,000円（81,000円） 食糧費 5,000円（5,000円） 損害保険料 3,000円（3,000円） 地球温暖化対策実行計画 3,014,000円（0円）						